

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371301090
事業所名	グループホーム安楽樹

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に参加しており、近隣の保育園との交流も継続している。中学生や近隣のボランティアの訪問が増え、法人の1泊温泉旅行の時なども協力を得ている。近隣のサークルの発表の場や民生委員の集まりの場の提供をすることにより、地域密着型サービスの理解を深めてもらうよう努めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回行われている。家族、民生委員、いきいき支援センター職員、系列事業所職員の参加により事業所の取り組みや行事の案内や報告を行い、意見や要望を聞くとともに、行事ボランティアの参加呼びかけの協力を相談するなど活用している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 介護保険更新時や、生活保護の受け入れ以外にも相談や指導を得るために、市役所・区役所へは普段から出かけて連携を深めている。職員が認知症の勉強の場に講師として出向いたり、職員が市の研修会に参加したりしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年に4回事業所便りが家族へ送付されている。近況報告は些細な事でも家族が訪問した折や電話などで伝えるようにしている。その都度、要望や意見がないか声をかけ聞いている。意見や要望は管理者・職員で話し合い対応している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				